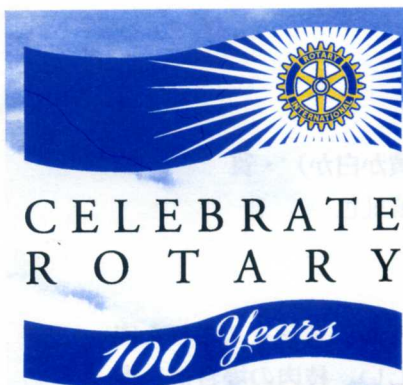




ロータリーを祝おう

2004-05年度 RI会長
グレン・エステス・シニア

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375



会長 齋藤 昭
幹事 佐藤 孝子

第2258回 例会会報 平成17年2月22日(火) 雪(本年度 第30回)

会員スピーチ⑫

飛躍の年に向かって.....阿蘇司朗君 ゲーム感覚で.....本間昭吉君

阿蘇司朗君



私は昭和54年の入会です。今年で26年目、25年間皆出席のバッジをいただきました。

青年会議所を昭和50年で卒業し、ロータリークラブからさっそくお誘いがありましたが、おことわり続けてきました。

と申しますのは、青年会議所時代、先輩、先輩とおだてあげられながら過ごしていたので、雲の上の方々がおられるロータリークラブで又一年生かと思うと堪えられないという我儘な気持ちがありました。

しかし、第3代目会長が私の叔父でもあり、今はなき張医院の張先生という日本国内のロータリーの中で生き辞引といわれた方の強引なお誘いから4年後に入会させていただきました。張先生は現会長の斎藤さんのようです。

入会して驚きました。人と人とのつながりが大変強く、それが家族との交流も随所にあられ、不安どころか楽しく、待ちどうしくさを感じるようになりました。これが今の25年皆出席につながったかと思います。一昨年職業奉仕理事をおおせつかりこの物質的、精神的な交流の指導がありましたが、鶴岡ロータリークラブでは今では難しいことです。時代の流れですから。

入会してすぐSAAでしたがその後ローターアクトクラブへ配属されました。又ここが私に大変合っていました。立候補して4年間続け、その後も合せますと8年間はあったと思います。

京都東ロータリークラブの方とお話をする機会があり、出席率をお聞きしますと、中位ですというこ

とでした。その答えは97%でした。私共のように80%で拍手がおこることを思うと、時代の変わりだけなのかと思うだけでよいのかと思います。

今年は乙酉だそうです。特に60年前のこの年は、東京大空襲や広島、長崎への原爆が落ちたということですが、今年は幸運をとりこむ、商売の利をとり、安心をとりこむ「飛躍の年」にしたいと思います。

本間昭吉君



平田プログラム委員長から、ラグビーの話でもとのことでしたが、別の話題とします。

ある新聞が平成15年にどんなスポーツを見るのが好きかを調査し、一人から一つだけ挙げてもらったところの結果がでておりました。当時の1番は野球で46%、次は、サッカーで13%、3番目は大相撲で6%、ついで、バレーボール・ゴルフ・マラソン・駅伝・テニスが4%から2%、そのほかのスポーツは総じて1%とのことでした。ラグビーもその1%です。

ラグビーにご興味をお持ちの方は、「ロータリーの友」昨年8月号に大学選手権で準優勝した、関東学院大学ラグビー部春口監督の「神奈川からスポーツルネッサンスを」と題した記念講演の要旨が掲載されていました。そちらを是非ご覧下さい。

さて、それでは、結局スピーチというよりも、皆さんと一緒に考えながら、ゲーム感覚で進めます。

◎習慣的行動

人の習慣とはおそろしいもので、実際あった研究

出席は クラブの活力	本日の 出席	会員数	46人	前々 回の 出席	出席率	74.42%
		出席数	30人		修正出席数	34人
		出席率	69.77%		確定出席数	79.03%

事例を一つご紹介致します。

(公園の築山の例…板書で説明)

みなさんは、これをルール違反と思いますか。それとも築山を作ったことに問題があると思いますか。3年後その築山は取り壊され、元の平坦な公園になったそうです。

このことにひっかけて、①「たくさんの道を知っているのも大人」②「たくさんの道を作るのも大人」③「たくさんの道を作ることを教えるのも大人」④「1本の道しかないのは独裁者の道」だとか。

終わりに

たくさんの道を知る・作る・教えるためのキーワードはたくさんありますが、その中から、①「生きがい」②「創意工夫」③「相互信頼」④「心身健康」⑤「社会貢献」の五つを取り上げたいと思います。

「生きがい」については、人それぞれに価値判断基準があり一概にいえませんが、端的に言えば、健康で粹にということでしょうか。「創意工夫」については、いつも新しい視点で何かを求めることは、新たなおもしろさを、見つけだすことができることでしょうか。「相互信頼」については、人と心のこもった交流とふれあいはお互いに楽しむことができるということでしょうか。「心身健康」については、申すまでもなく、心とからだともに、元気潑刺ということでしょうか。「社会貢献」については、これもまた、申すまでもないことです。

このようなキーワードを考えると、「それはロータリー活動そのものかも知れません」ということで、終わりとさせていただきます。

会 長 報 告

斎 藤 昭

美味しい牛肉とは

(1)美味しい肉とは何をいうのか

牛肉にも、ほんとうに美味しいと感ずるものと、まずいと感ずるものがある。人によりそれぞれ分かれようが、しかしこのように感ずるのは一体何によるのだろうか。

1. 牛肉の肉の性質
(柔らかさ、多汁性(ジューシー)、肉の縮り)
2. 風味(におい、旨さ)
3. 歯ざわり(柔らかさと肉の弾力性)
4. 調理のしかた(肉の性質を生かした)

これら総合されてかもし出す美味しさである。

(2)肉の見分け方

1. 品 種 和牛か乳用牛かまたは輸入牛か
2. 肉質とは、柔らかさ・きめの細やかさ・つや

3. 脂肪とは、脂肪の色(黄か白か)・質

4. 肉色とは、理想は濃い鮮紅色

5. 熟成とは風味

6. 年 令

大体このようなものであるか、スライスされた肉を見て、見分けることは難しい。枝肉の場合は、慣れた人は大体判断が出来ると思う。

肉の色の見かた

◎標準は鮮紅色

色は牛肉の良否を見分ける指標であるが、牛肉の切りたてはやや紫かった暗赤色だが、暫くするときれいな鮮紅赤色に変る。これは牛肉の筋肉色素のミオグロビンが空気にふれて酸化しておこるもので時間がたつと再び暗紫色に変わる、スライス肉などで一部分黒っぽく変色したものを見ることがあるが、こういうものは保水性のない水分の多い品質のよくない肉である。こういうものは、色は悪いが味や質に変わりない。

注：上質の肉は重なっても、黒く変色することはない。きれいな鮮紅色を保ちつづける肉は日持ちのするよい肉。

委 員 会 報 告

出席委員会

委員長 本間昭吉君

○メイクアップをされた方

富樫君 榎本君 藤川君 樋渡君 加藤(功)君
高橋君 齋藤会長 佐藤幹事 塚原君

○ビジター

菅原常彦君(鶴岡東ロータリークラブ)

プログラム委員会

委員長 平田 正君

3/8 自衛隊山形地方連絡部長 川嶋 昌之氏

「最近の自衛隊の活動とそのこぼれ話など」

3/22 山形大学名誉教授 北村 昌美氏

「瑞宝中綬章受章に際して、

関西育ちが、北国生活50年を顧みて」

3/29 会員スピーチ 市議会議員 榎本 政規君

「市町村合併の顛末と

今後の地方自治行政のあり方」

4/5 鶴岡青年会議所理事長 尾形 昌彦氏

「JCの現状と東京、大阪、鶴岡のビジネス等」

4/19 新入会員スピーチ 越智 茂昭氏

「海上自衛隊の現状など」

4/26 会員スピーチ 東京海上 相良 伸一君

スマイル

佐藤孝子君 阿蘇さん、本間さんのスピーチに

齋藤 昭君 阿蘇さん、本間さんのスピーチに

須田貞夫君 長男が自治医大に合格しました